

中津川工区の概要

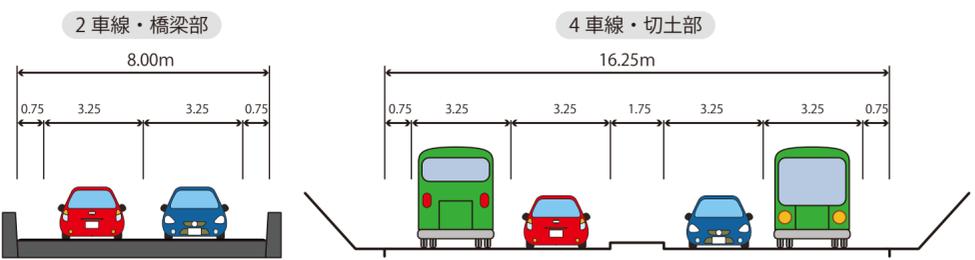
位置図



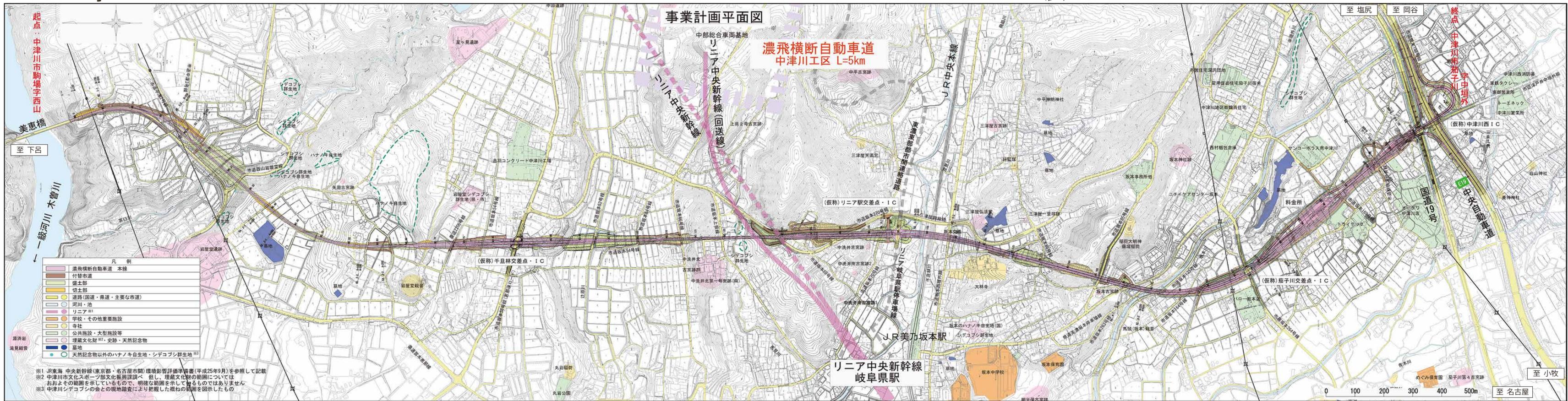
中津川工区の諸元

計画区間	中津川市駒場字西山～中津川市茄子川字中垣外 (木曾川・美恵橋南側) (国道19号・中央道接続)
計画延長	約5km
規格(設計速度)	第3種第2級(60km/h)
道路幅員	8.0～16.25m
車線数	2車線(概ね、駅より北側:約3km) 4車線(概ね、駅より南側:約2km)
計画交通量	約7,800～13,500台/日

標準横断面



※上記標準横断以外に、ランプ構造によって複数車線となる箇所があります。



中津川工区のルート計画における基本方針

リニア岐阜県駅周辺の広域道路網は、東西方向は中央自動車道や国道19号が整備されていますが、南北方向については十分な道路ネットワークが整備されていない状況となっています。そのため、濃飛横断自動車道により南北方向の広域的なアクセス軸を形成し、速達性・定時性を確保すると共に、地域内の交通が輻輳することを防ぎます。

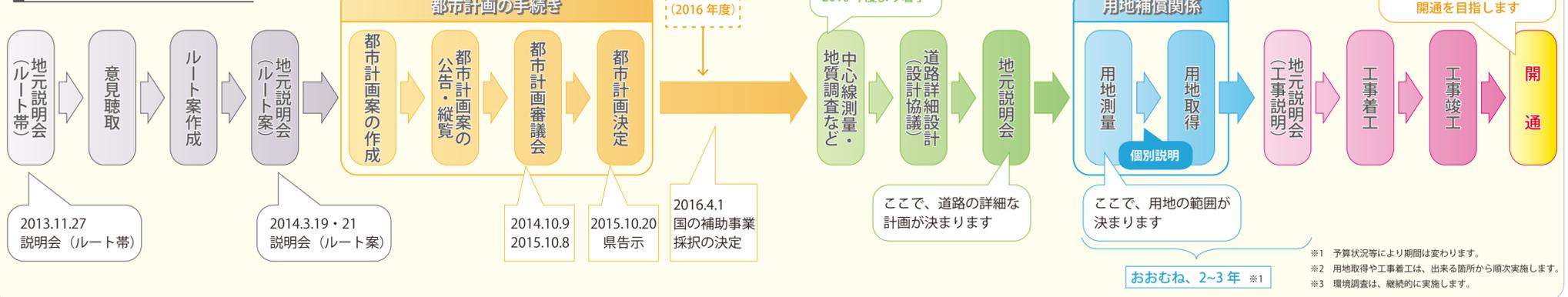
中津川工区のルート選定における考え方

- リニア岐阜県駅へのアクセス及び景観を考慮し、地形的制約の中で駅東側のできるだけ駅に近接したルートとすること。
- リニア岐阜県駅への広域的なアクセスを考慮し、南側は中央自動車道及び国道19号に接続すること。
- 2027年のリニア開業までの限られた期間の中で、一定の効果が発揮できるよう、北側は木曾川(県道苗木恵那線 美恵橋)の手前までを整備すること。
- 地域内の遺跡・史跡や天然記念物等を考慮すること。

地域特有の環境への対応について

上記基本方針・考え方に基づき、中津川工区は地形条件、遺跡・史跡や学校・住宅密集地などの地域条件、希少植物(ハナノキ・シデコブシ)などの自然条件、道路構造に関する技術的条件などを総合的に勘案して設定しています。なお本計画は、『環境影響評価法』や『岐阜県環境影響評価条例』に基づく環境影響評価を行う対象事業ではありませんが、ハナノキ・シデコブシといった当地域特有の植物自生地近傍を通過することを考慮し、詳細設計の段階では必要な環境調査を実施し、専門家の意見を伺いながら、道路による自然環境・住環境への影響を極力小さくするよう進めてまいります。

事業の経緯・今後の予定



※本図面は、2014年3月および2018年1月・3月の説明会で使用した図面に一部加筆しております。

※1 予算状況等により期間は変わります。
※2 用地取得や工事着工は、出来る箇所から順次実施します。
※3 環境調査は、継続的に実施します。